

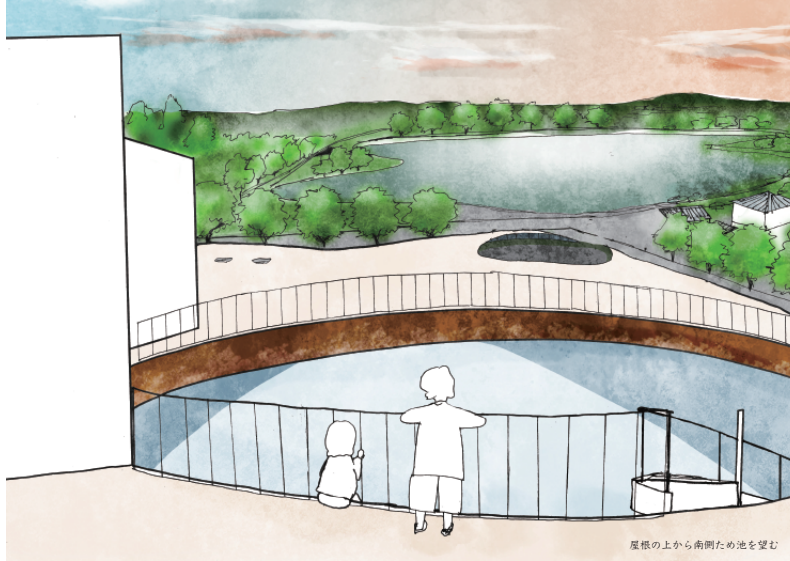
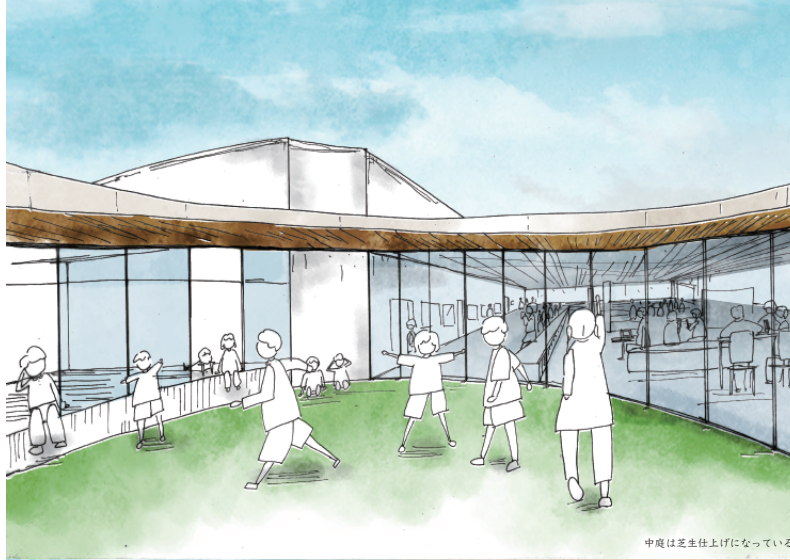
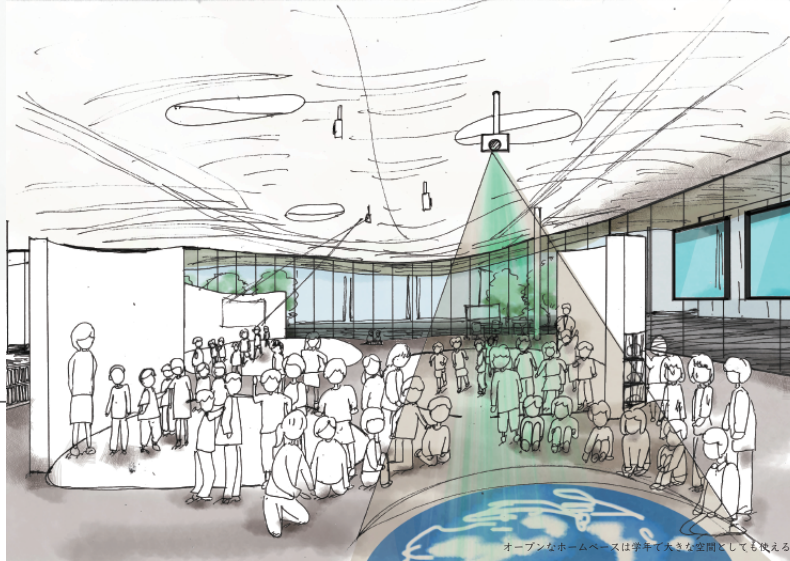
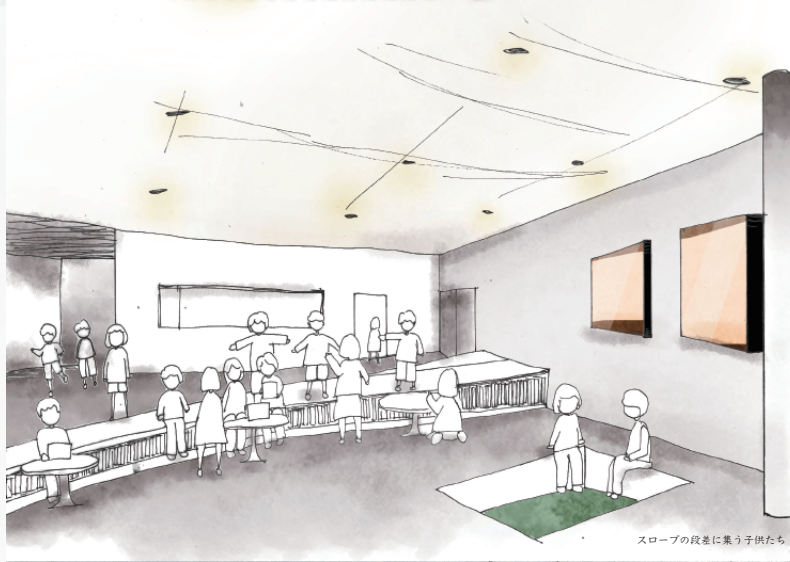
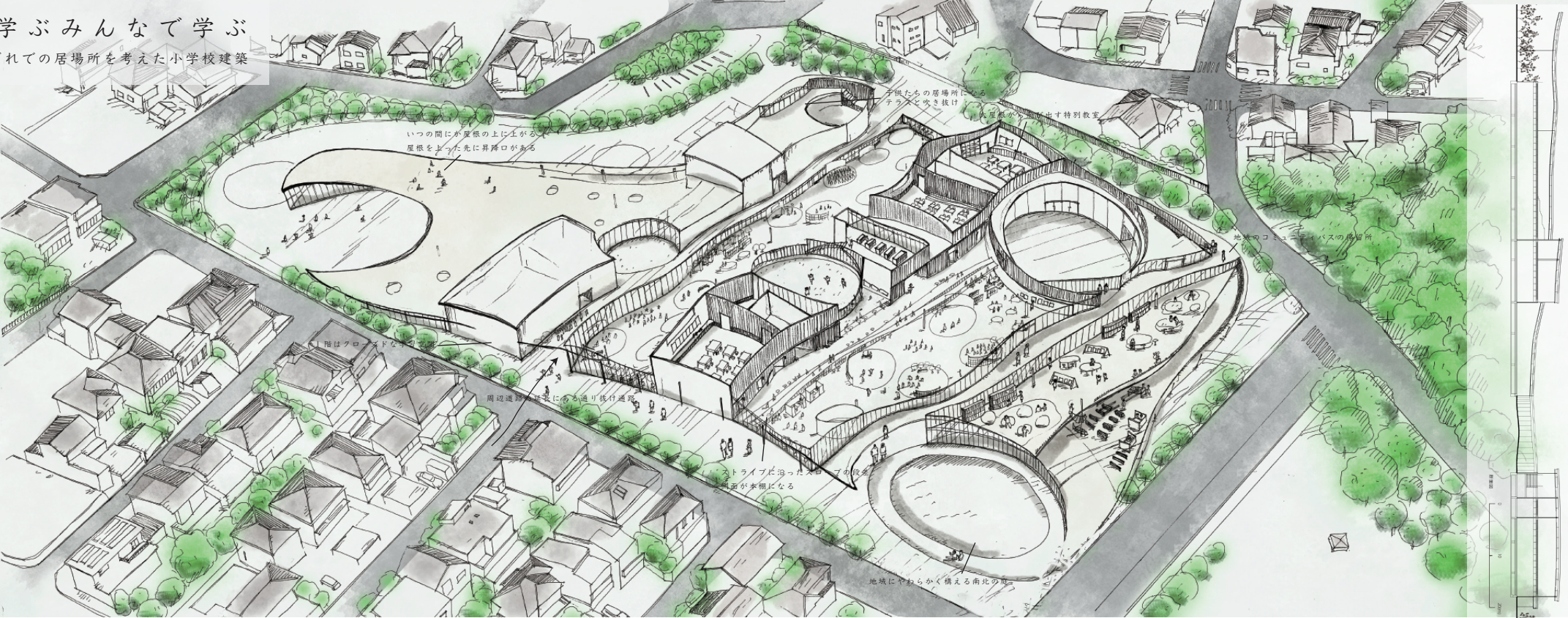
ひとりで学ぶみんなで学ぶ
一人と集団 それぞれでの居場所を考えた小学校建築

1.background

ICTによる教育
のパーソナル化

近年、教育現場におけるICT化が進められている。北沢健司をはじめとして、世界各国で、教育のICT化が進んでいる。日本では、2020年の新型コロナウイルスの流行により人々の暮らしに大きな影響を与えた。その影響は、小学校にも波及した。休校という措置が取られた。その際、授業にオンライン学習を行うことができたような環境がなかった。このことが、ICTの活用が一層進むきっかけとなった。

今後、教育は子供一人ひとりに合わせたよりパーソナルなものになっていくだろう。日本では5年後までに1クラスの生徒数を40人から35人に引き下げ、子供たち一人ひとりにより寄り添った教育を目指す。ICT化により、一人一台の端末配布や校内LANの整備が進むなどの傾向は一層進む。例えば、AIによる学習診断により個別最適化された課題が出題されたり、自分の学習進度に合わせた表現を学ぶ、海外や大学・専門学校などと繋がって学ぶなど、一人ひとりの長所を伸ばすような機会が設けられる。いよいよ日本のICT教育実現へ幕を開けた。現在の教育からどのように変化したか、どのような課題で、変化した先の教育が行われるだろうか。ICTによりパーソナルになる教育体制にフィットする学校建築の提案である。



2.proposal

ひとりの居場所と開かれたホームページ

ICT化が進んだ場合、主要5科目は個人の端末とA1を用いた個人学習にシフト、即ち、時間割の約60パーセントが個人学習の時間になる。

一人ひとりに適した学習には、一人ひとりに適した空間が不可欠だ。そして、これまでのような壁で囲われた教室は必要なくなり、オープンなホームページになる。これらがワンルーム的に置かれる公園のような建築をつくる。

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1					
2					
3					
4					
5					
6					

個人の居場所

ホームページ

3. site

愛知県尾張旭市 城山小学校

尾張旭市は名古屋市中心部から北東へ約15kmのところに位置する市である。

対象地は、南はため池を中心とした自然豊かな公園、その他三方は住宅街に囲まれている。

尾張旭と“ため池”の歴史

この地域では、古くから農業を中心とした生活が行われていた。農業を進める上で必要不可欠な水を確保するための“ため池”が多く作られた。江戸時代の絵図にはため池の位置が詳細に描かれ、この地に日常的な存在だったとわかる。昭和からの宅地開発によりその数は減少し、1967（昭和42）年、埋没池というたの池を埋め立てて作られたのが、城山小学校である。

1869年（明治2年）の絵図

1893年（明治26年）の地図

4. how to make

大屋根をかけるまで

①もともと道路と周辺の街区から、敷地をストライプ状に区切り、通り抜け道路とスロープ、2層のボリュームになる帯を決める。帯の中がそれぞれ質の違う子供たちの居場所になる。

②帯からボリュームを削り抜けをつくることで、帯南北の空間がつながる。

③そこに“ため池”の形を手がかりとした大屋根をかけ、多極的voidをあける。そこを吹き抜けや中庭空間にすることで、子供たちの居場所にバリエーションを生み出す。屋根の上を歩くこともできる。

5.idea-1

自由に選択できる居場所

1人

2人

4人

6人

何人でも

一人ひとりが居心地が良いと感じる場所を選ぶことができるように、1〜6人向けの座席・・・何人でもくつろげられるスロープを利用した段差を用意する。

5.idea-2

緩やかなゾーニングによるホームページ

朝の会や給食、通学、総合（3年生以上）といった時間は、クラス単位でホームページにて行われる。トップライトと床材の変化、曲面の壁による緩やかなゾーニングになる。家具が少なく、面積は約40㎡になっている。

5.idea-3

身近な遊び場としての中庭

体育以外の時間でも、子供たちは個人学習の余った時間で自由に遊ぶ。中庭は、採光・通風のためであると同時に、子供たちにとって身近な遊び場になる。中庭は芝生仕上げになっており、上履きのまま校内の移動にも使われることを想定している。

5.idea-4

要素を結ぶ大屋根

さまざまな要素を、波打つ屋根で覆うと、屋根の下がシームレスに繋がり、大きな室内公園のような空間が生まれる。大きな屋根がみんなで学んでいることを意味する。

子供たちの昇降口は全て、屋根を登った先に位置しているため、6年間全員が同じ屋根の上を歩いて登下校する。そのため、屋根は所々地面に接している。